

私たち教職員は生徒とともに学びます

このような教師を目指します

〔 生徒の夢の実現を
支援できる教職員 〕

- ① 生徒とともに成長します
- ② 生徒の心に寄り添い、優しさと厳しさを兼ね備えます
- ③ 「わかる・できる」まで粘り強く指導します
- ④ 生徒、保護者、地域の声に耳を傾け、実践します
- ⑤ 教育公務員としての自覚と責任と誇りをもちます

6つの視点に立った授業改善

- ① 生徒との信頼関係がしっかりと築かれている
- ② 授業のねらい、目的がはっきりしている
- ③ 生徒の興味・関心、やる気を高めるための工夫がある
- ④ 授業のねらいに迫る価値ある活動の時間がたっぷりととられている
- ⑤ 生徒一人ひとりに応じている（個に応じている）
- ⑥ 学習への満足感・達成感がある

大原中学校の生徒の皆さんへ！

教育界の大先輩が言っていました。

【教育界の大先輩：森信三先生】

- その学校の教育の程度を知るには、三秒とかからぬ。子どもたちの靴箱の前に立って見るがよい。
- 教育は観念的なキレイごとではない。言うなれば実に野暮ったいものである。まず紙屑を拾うことから。次に靴箱の靴のかかところが揃うように。真の教育は、こうした眼前の瑣事（さじ）【些細なこと】からスタートする。

この当たり前のことをしっかりと行うこと【凡事徹底（ぼんじてっい）】が重要であると言っています。本校では皆さんに行動目標を示します。「挨拶・返事をする」「校歌をしっかりと歌う」「靴のかかたをそろえる」「けじめをつけた行動をする」「時間を守る」「掃除や整頓をする」「思いやりの心をもつ」、そして「授業をしっかりと受ける」など、凡事徹底（ぼんじてっい）【当たり前のことを当たり前に行うこと】を目指しましょう。先生方も率先垂範（そっせんすいはん）【よいことを皆さんに先立って行い見本となること】を心がけます。このようなことが成長の糧（かて）【そのことを行うのに必要なエネルギー】となり、豊かな人間性が身につく、生涯にわたって生きて働く真の学力が身につくのだと思います。

さらに、現在の大原中学校の生徒の皆さんなら、凡事一流（ぼんじいちりゅう）を目指すことができます。凡事一流とは次のような行為と考えます。「当たり前のことを当たり前に、自然と行うことができること。いつでも、どこでも、だれも見なくても、継続的に行うことができること。なぜそのことを行うことがよいことなのかを考え、工夫を加え、他のことに応用できること」これはいわばGrit(やり抜く力)です。心がけていきましょう。